

令和2年度

施設名（愛称名）	下田市立吉佐美運動公園
----------	-------------

番号	25
----	----

令和2年度

施設評価調書

施設の名称……吉佐美運動公園

所管担当課……教育委員会生涯学習課

令和2年7月

令和2年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
-------	----------	-------------	----	----

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設 置 目 的	市民の健康の増進と体育の向上及びレクリエーションの振興を図り、かつ、市民の健全な憩いの場として活用する。					
運 営 事 業 名	H30 年値	R 元年目標値	R 元年実績値	対前年比	目標達成率	評価
施設利用者数	6,493 人	7,500 人	15,616 人	240.51%	208.21%	A
設置目的に対する総合評価						A
目 的 達 成 度 の 評 価 基 準	施設の利活用による設置目的の達成度合いが判断しにくいとため、有料部分の施設利用者数を評価基準とした。平成 22 年度から、前年度実績を目標値として設定。 A→100%以上 B→80%～99% C→60～79% D→40～59% E→40%未満					

2 現状分析(Check)

運 営 事 業 の 意 義 と 現 状	当該施設は、海水浴場に隣接し自然環境に恵まれた運動公園施設であり、スポーツ会場として市民の健康増進、レクリエーション活動の場を、公園として憩いの場を提供している。敷根公園健康広場の補完的な施設としての需要がある。
上 記 の 原 因	現在は、軟式野球・グラウンドゴルフの利用が、大半を占めている。 R 元年度はビッグシャワー利用者（10,000 人）が計上されている。

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	平日の利用が少ないので、そこを利用できる人々にターゲットを絞り、利用促進活動を行う。		
R2 年度運営事業と目標値	運 営 事 業 名	R2 年度目標値	備 考
	施設利用者数の増加	7,400 人	過去三年間の最多利用者数（H29 年） ※R 元年度のビッグシャワー除く

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価（上段＝目標値、下段＝実績値）

運 営 事 業 名	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
総合評価	B	A	B	B
施設利用者数	7,275 人	6,642 人	7,425 人	7,400 人
	6,642 人	7,425 人	7,400 人	6,493 人

令和2年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
-------	----------	-------------	----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H30 年度値	R 元年目標値	R 元年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	6,493 人	7,500 人	15,616 人	240.51%	208.21%
	B 年間経費 (除く収入)	2,150,879	1,751,235	1,551,842	72.15%	112.85%
	B / A	331.26	233.50	99.38	29.00%	234.96%
②光熱水費		158,979	157,000	146,746	92.31%	106.99%
③消耗品費		22,779	71,000	70,892	311.22%	100.15%
効率性指標の考え方等		A 施設総利用者数等＝申請における利用者数を集計して総利用者数とした。（占用以外の使用は自由なため、占用以外のトイレのみの利用等は含まない。） B 年間経費＝支出額（目標値は当初予算額）＋人件費 ※10/12 災：3,850 を含む				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	利用者数は増減を繰り返しながら微増している。 (R 元年度に大幅な増加があったのは、ビッグシャワー参加者数を計上したため。)
----------------	---

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	光熱水費・消耗品費の軽減に向け、施設利用者へ節水・節電の呼びかけ等の対応を行う。		
R 2 年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B / A	219.93	年間経費（当初予算額＋人件費）÷利用者数 目標値（7,400 人）
	②光熱水費	173,000	当初予算額
	③消耗品費	25,000	当初予算額

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
①利用単位当たり 経費	目標値	7,275 人	6,642 人	7,425 人	7,400 人
	A 実績値	6,642 人	7,425 人	7,400 人	6,493 人
	B 実績値	978,334	1,348,759	1,419,000	2,150,879
	B / A	147.30	181.65	191.76	331.26
	A 対前年比	91.30%	111.79%	99.66%	87.74%
	A 目標達成率	91.30%	111.79%	99.66%	87.74%
②光熱水費	目標値	142,000	142,000	136,000	148,000
	実績値	131,499	129,319	160,906	158,979
	対前年比	92.44%	98.34%	124.43%	98.80%
	目標達成率	107.99%	109.81%	84.52%	93.09%
③消耗品費	目標値	72,000	72,000	70,000	70,000
	実績値	54,000	93,268	76,264	22,779
	対前年比	69.21%	172.72%	81.77%	29.87%
	目標達成率	133.33%	77.20%	91.79%	307.30%

令和2年度

施設名（愛称名）	下田市立吉佐美運動公園
----------	-------------

番号	25
----	----

4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単位	H29 年度	H30 年度	R 元年度
	①有料部分の 年間経費	使用料等を徴収する部分の 年間経費（支出合計＋人件 費）	円	6,632,510	21,508,789	1,551,842
	②受益者負担 額	施設の本来の目的による使 用料等の年間総額	円	273,351	241,626	227,436
	③受益者負担 比率	②÷①	%	4.12%	11.23%	14.66%
	④補正受益者 負担額	減免者より正規の料金を徴 収したと仮定した場合の受 益者負担額。（受益者負担 額＋年間減免額）	円	364,831	320,066	309,986
	⑤補正受益者 負担比率	④÷①	%	5.50%	14.88%	19.98%

運営に掛 かる税負 担 (市民負担)	年度		H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 2 年度(予算)
	人口（4月1日：人）		22,477	21,937	21,492	21,080
	人口 1 人あ たり（円/ 人）	運営経費〔支出合計＋ 人件費〕	295	98	72	—
		年間総経費	308	112	85	—

令和2年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
-------	----------	-------------	----	----

利用者満足度調査

アンケート調査実施なし。ただし、予約受付時や使用料収受の際に意見聴取している。再利用率の高い施設で、使用者からは大きな不満の声は無い。

実施の有無	☐ 有 ☒ 無	調査の方法	アンケート	H 年度調査数	件
-------	--	-------	-------	---------	---

○貸館利用者向け

1 調査結果

設問	回答種類	H 年度回答数	H 年度回答数	H 年度回答数
	1			
	2			
	3			
	1			
	2			
	3			
	1			
	2			
	1			
	2			
	1			
	2 □			
	1			
	2			

※今年度寄せられたクレーム等

2 調査結果から読み取れること

3 次年度以降への改善点

施設修繕計画及び備品購入計画

破損 年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考（修繕済年度等）
H30	防風フェンス修繕（9/30 災）	631,800	H30	H30

※今後想定される維持管理事項
平成 17～19 年度で公園整備事業が終了。平成 29 年度の修繕により、災害復旧以外に大きな修繕については想定していない。

令和 2 年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
---------	----------	-------------	----	----

管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性	市民の健康増進、レクリエーション活動の場として、また、憩いの場として今後も必要不可欠な施設である。 平成 17 年度から 3 ヶ年で公園整備事業を進めてきた経緯があり、現在のところ廃止・休止の可能性は低い。 敷地内の一部（17,854.82 m ² のうち 11,902.80 m ² ）は、平成 16 年 3 月に国有財産無償貸付を受けており、契約条項として用途の指定がある。
民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	単独の施設としては、施設の設置目的、採算性から現行の管理運営形態は妥当と考える。 市民サービス向上、さらなる施設の効率的活用を目指し、指定管理者制度の導入を検討したが、メリットが見込めず施設の実情にそぐわないと判断し、当面直営での管理を行いたい。
施設の管理運営と経費の妥当性	住民の健康増進、スポーツ普及、憩いの場の提供に対する経費として、施設の規模からすると妥当な額であると考ええる。
施設の性質や実費経費からみた受益者負担の妥当性	憩いの場を提供することを目的とした公園施設と有料の運動施設という二つの性質を併せ持つ施設であり、平成 29 年度の受益者負担率は約 4 %となっている。当該年度は 2 回の災害復旧大規模修繕が発生したため、単年度経費が大幅な増となっているためである。
その他の管理運営上の課題	施設内に管理棟が無いこと、また利用頻度の高い土、日、祝祭日に、窓口となる教育委員会が閉庁しているため、利便性には欠ける面があるが、使用者には、事前の使用説明で理解を得ている。
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	南伊豆町農山村総合整備事業施設（差田グラウンド） 面積：10,000 m ² 設備：夜間照明、散水装置、駐車場 60 台 管理棟〔トイレ・ロッカー室（男女各 1 室・シャワー各 1 個）〕 「使用料金」 ○野球・サッカー・陸上競技等占用するもの 8:00～12:00（6,000 円）、12:00～17:00（6,000 円）、18:00～21:30（6,000 円） ○その他（占用しないもの） 8:00～12:00（3,000 円）、12:00～17:00（3,000 円）、18:00～21:30（3,000 円） ※南伊豆町民は半額。施設備え付けの器具を使用する場合、別に 500 円。

令和元年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項
吉佐美運動公園管理運営事業	吉佐美運動公園管理運営	利用者数の増加

令和2年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
-------	----------	-------------	----	----

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立吉佐美運動公園			2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係		
3 所在地	下田市吉佐美 1900 番地の 1			4 設置年月	昭和 49 年 1 月開設		
5 総合計画 の 位置付け	Ⅱ 人が輝くまちづくり		1 自ら学ぶ人づくり		3 スポーツ		
	基 本 目 標		市民がいつでも気軽にスポーツを楽しむことができるまちを目指します。				
	基本目標を実現 するための施策		項目 施設の有効活用		内容 利用者ニーズに対応 した施設整備		
6 設置目的	市民の健康の増進と体育の向上及びレクリエーションの振興を図り、かつ、市民の健全な憩いの場として活用する。						
7 設置根拠	下田市立吉佐美運動公園の設置及び管理に関する条例 (平成 15 年 10 月 3 日条例第 12 号)						
8 施設の概 要	施設の概要	敷地面積 全体面積 17,854.82 m ² 運動広場 9,663.35 m ² 駐車場 50 台程度 トイレ男女障害者					
		運動公園 野球場レフト側 110 m、センター 80 m、ライト側 90 m					
	実 施 事 業 の 概 要	・昭和 49 年から、国有地を占用し「下田市立総合グラウンド」として整備し、以後、市内屋外体育施設の中核をなす役割を担ってきた。 ・平成 15 年度に国有地の 1／3 を払い下げ、2／3 を無償貸与という契約を締結し、その条件として平成 20 年 3 月 11 日を期限に運動公園の整備を進めてきた。（整備事業概要－トイレ兼器具庫改築、防球ネット設置、駐車場整備） ・平成 16 年度から、名称を「下田市立吉佐美運動公園」と改め、体育施設と公園施設の性質を併せ持つ社会教育施設として活用を図っている。 ・平成 29 年度に修繕及び災害復旧でベンチ関係一式を取替を行った。					
		料 金 区 分					
			主 な 料 金	運動広場使用料			
	利用時間区						
	分			午前		午後	1 日
	利用者区分			8:30～12:30		12:30～17:00	8:30～17:00
	一般			市 内	1,470 円	1,680 円	3,150 円
		市 外	2,930 円	3,350 円	6,280 円		
料 金 体 系	減 免 内 容	高校生以下	市 内	730 円	840 円	1,570 円	
			市 外	1,470 円	1,680 円	3,150 円	
		(使用料の減免) 第 9 条 市長は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。 2 前項に規定する使用料の減免は、次に定めるとおりとする。 (1) 下田市が主催し、又は委託する事業で使用するとき。 全額免除 (2) 下田市内の保育所、幼稚園又は小中学校が、園児、児童又は生徒の保育若しくは教育のために使用するとき。 全額免除 (3) 官公署、公益法人又は報道機関が、公益事業のため入場料を徴収しないで使用するとき。 全額免除 (4) 前各号に定めるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。 市長が定める額					
利用料金制度		☐ 有 ☒ 無					
施 設 運 営 方 法	☐ 直接運営						
	☐ 指定管理者制度 →		指定管理者				
	☒ 一部委託 →		委託内容	清掃管理			

令和２年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美運動公園	番号	25
-------	----------	-------------	----	----

	直接従事職員	下田市職員数 0.033 人工 委託団体職員数 エルダーの会					
9 市 内 の 類似施設	下田市所有	敷根公園、学校屋外体育施設					
	民間所有	なし					
10 取得費等 の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		令和元年度末残高		(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価 1 円 ・ 新設翌年度 から償却 ・ 耐用年数 50 年 市債は防球ネット、 駐車場等整備に 係るものを含む。		
	土地取得費	57,700,000	土地残高				
	建物取得費	21,067,200	建物減価償却後残高	15,168,398			
	財源内訳						
	国・県支出金						
	市債	27,100,000	市債残高	4,427,148			
	一般財源						
	寄附金等						
	物品(* 万円以上)		物品減価償却後残高				
11 年間経費 等推移 (単位：円)	区 分		H29 年度決算	H30 年度決算	R 元年度決算	R 2 年度予算	
	収入	吉佐美運動公園使用 料	273,351	241,626	227,436	243,000	
	収 入 合 計		27,351	241,626	227,436	243,000	
	支出	10 節 需用費	1,877,147	862,298	251,465	250,000	
		消耗品費	76,264	22,779	70,892	25,000	
		燃料費	22,785	21,622	20,000	22,000	
		印刷製本費	20,952	9,946	0	10,000	
		光熱水費	160,906	158,979	146,746	173,000	
		修繕料	1,596,240	648,972	13,827	20,000	
		11 節 役務費	89,137	90,424	17,122	18,000	
		12 節 委託料	972,002	972,000	1,070,442	1,141,000	
		14 節 工事請負費	3,178,440	0	0	0	
		17 節 備品購入費	299,289	0	0	0	
	支出合計		6,416,015	1,924,722	1,339,029	1,409,000	
	減価償却費		421,343	421,343	421,343	421,343	
	市債利子		153,469	117,349	80,686	43,383	
	職員人件費		216,495	226,157	212,813	218,467	
	下田市負担年間総経費		6,933,791	2,447,945	1,826,435	1,849,193	
	備考	○人件費は、1/30 人工として職員人件費平均から算出したもの ○下田市負担年間総経費＝支出合計＋減価償却費＋市債利子＋職員人件費－収入合計					
12 施設利用 状況等の推移	利用 状況	利用年度		H29 年度決算	H30 年度決算	R 元年度決算	R 2 年度予算
		利用 者数	市 内	7,100 人	6,220 人	15,118 人	7,100 人
			市 外	300 人	273 人	498 人	300 人
			合 計	7,400 人	6,493 人	15,616 人	7,400 人
		参考：利用単位 当たり市負担額		937.02 円/人	377.01 円/人	116.96 円/人	249.89 円/人
	算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数						
	休館日	12 月 29 日から 1 月 3 日まで					
	使用 時間	午前 8 時 30 分から午後 5 時まで					